

北海道肉牛研究会 ニュース

No.18 2013.9.18

北海道肉牛研究会事務局
北海道立総合研究機構畜産試験場
肉牛グループ・技術支援グループ
〒081-0038
北海道上川郡新得町字新得西5線39番地
Tel:0156-64-0610 FAX:0156-64-3212

第30回北海道肉用牛共進会が開催される

第30回北海道肉用牛共進会が、9月15日(日)に安平町の北海道ホルスタイン共進会場で行われました。全道から選抜された黒毛和種雌牛141頭(単出品103頭、群出品38頭)が、10部門に分かれ体型や資質を競いました。最高位を受賞したのは、未經産牛では「たらちね465」(JA広尾町 佐藤哲也氏)、経産牛では「ここあ」(JAふらの上富良野支所 荒直氏)、群出品では「きくひで」「きくかつ」(JA新はこだて八雲支店 田原隆行氏)でした。各部門の1等1席は表のとおりです。

部門	名号	父牛	JA	出品者
第1部 (未經産 10~13カ月齢未満)	よしみ	安福久	とまこまい広域 穂別支所	上村義昭氏
第2部 (未經産 10~15カ月齢未満)	ゆづき	北安茂93	十勝池田町	河口賢悟氏
第3部 (未經産 13~15カ月齢未満)	なつひ	勝忠平	更別村	大友巧氏
第4部 (未經産 15~18カ月齢未満)	たらちね465	勝忠平	広尾町	佐藤哲也氏
第5部 (未經産 18~24カ月齢未満)	まなみ	百合茂	十勝高島	神田博文氏
第6部 (経産 48カ月齢未満)	ここあ	勝忠平	ふらの 上富良野支所	荒直氏
第7部 (経産 48カ月齢以上)	しげふく	安平	鶴川	下田重光氏
第8部 (父系群 10カ月齢以上)	ひさしげ	安福久	とまこまい広域 穂別支所	藤岡健人氏
	ひさまる		とまこまい広域 追分支所	(有)中道農場
	ひさゆき		とまこまい広域 穂別支所	西正光氏
第9部 (母系群 10カ月齢以上)	きくひで	菊福秀	新はこだて 八雲支店	田原隆行氏
	きくかつ	平茂勝		
第10部 (改良組合・農協繁殖群)	すずみ	勝忠平	池田町和牛 生産改良組合	樋口圭洋氏
	かなみ			武田大治氏
	りお			多田将平氏

今年は、勝早桜5が北海道立総合研究機構畜産試験場から父系群の部に参考出品され、来場者の注目を集めました(写真)。

審査委員長の池田和徳氏(全国和牛登録協会参与)の講評では、「発育・体の伸び・前軀・中軀幅が良く、母系の「安平」の特徴が出ている」とのことでした。



写真 勝早桜5 揃い踏み

勝早桜 5 北海道肉用牛共進会参考出品への道のり

畜産試験場では、北海道推奨種雄牛「勝早桜 5」産子繁殖牛の体型・資質を、多くの生産者や関係機関に実感してもらうために、北海道肉用牛共進会に参考出品することにしました。北海道酪農畜産協会の栗生部長の指導のもと、6月から出品に向け、毎日つなぎ調教やブラッシング、毛刈り等の取り組みを進めてきました。

6月5日 鼻環の取り付け



出品候補牛を4頭選定し、鹿の角を使って鼻環を取り付けました。

7月10日 牛体洗浄&毛刈り



バリカンとカミソリを使って、丁寧に毛を刈りました。

8月6日 出品牛の選定



候補牛4頭から、出品牛3頭を選定しました。

9月11日 出品前牛体洗浄&毛刈り



最終仕上げの毛刈りをしました。



平成24年1月13日生
勝早桜5-糸桜10-安平



平成24年1月22日生
勝早桜5-平茂晴-平茂勝



平成24年2月3日生
勝早桜5-平茂晴-平茂勝

畜産試験場で実施中の研究紹介

1. 簡易測定装置で脂肪酸を測っています

牛肉の脂肪に含まれるオレイン酸等の一価不飽和脂肪酸は、「おいしさ」に強く関係すると言われる。鳥取県や長野県、大分県などの先進県ではブランド認証の指標となっています。畜産試験場では、平成 23 年から北海道酪農畜産協会・帯広畜産大学との共同研究「道産和牛の産肉性と生産牛肉の品質向上手法の開発」で道産和牛の脂肪酸組成の実態を調査し、血統や遺伝情報、飼養条件との関連性について検討しています。現在は、十勝枝肉市場で食肉脂質測定装置（㈱相馬光学製、写真 1）を使って黒毛和種の脂肪酸組成のデータを収集しています（写真 2）。

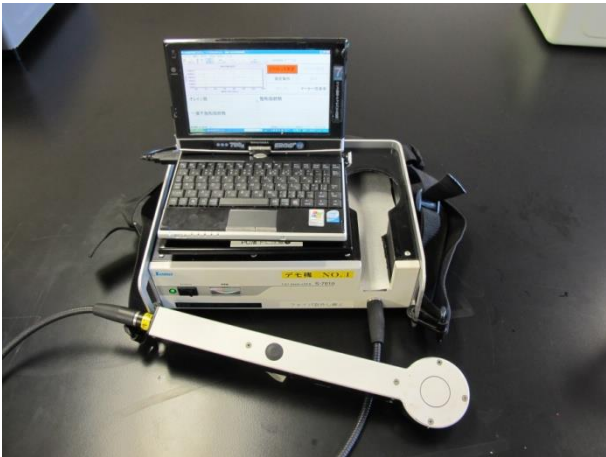


写真 1 食肉脂質測定装置



写真 2 測定の様子

2. 牧草サイレージで育成した牛の枝肉ができました

黒毛和種肥育素牛への牧草サイレージの給与法を確立するために、平成 23 から 26 年までの 4 年間で「牧草サイレージ利用型黒毛和種肥育素牛育成技術の確立」という課題を実施しています。今年の 6 月に牧草サイレージ育成牛 12 頭を 28 カ月齢でと殺し、枝肉成績ができました。牧草サイレージ育成牛の BFS No. はすべて 3 と判定され、脂肪の黄色化もみられずビタミン A コントロールもできました。

今回の枝肉成績を、8 月 31 日に紋別市で開催された北海道畜産草地学会で発表してきました。本学会は生産者や普及指導員の参加が多く、ポスター発表のときには、「牧草サイレージを給与するとどのくらい配合を節約できるのか?」、「肥育前期に牧草サイレージを給与できないか?」、「コーンサイレージは育成に使えないのか?」等、多くの質問がありました。

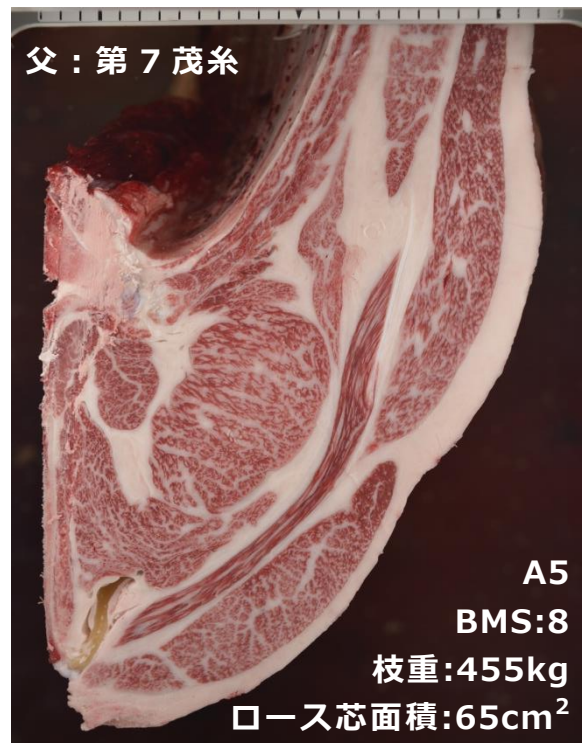


写真 牧草サイレージ育成牛の枝肉
(写真提供：帯広畜産大学口田研究室)

2013年 道内肉牛関連行事予定

ジェネティクス北海道黒毛和種枝肉共励会	10月5日(土)	帯広市・畜産公社
北海道枝肉共励会 (乳用雄肥育牛および交雑牛の部)	10月19日(土)	帯広市・畜産公社
北海道肉牛研究会大会	10月31日(木)～ 11月1日(金)	江別市・酪農学園大学
資源循環型牛肉生産シンポジウム	11月7日(金)	帯広市
北海道肉専用種枝肉共励会 (アンガス・日本短角)	11月7日(金)	帯広市・畜産公社
北海道あか牛枝肉共励会	11月28日(木)	安平町・畜産公社
北海道枝肉共励会(黒毛和牛の部)	11月30日(土)	帯広市・畜産公社

会費納入のお願い!!

2013年度年会費(個人会員 2000円)の納入をお願いします。

2012年度以前の会費を未納の方は至急納入して下さい(同封請求書を参照のこと)。

研究会は会員の皆さんからの会費で運営されていますので、忘れずに納入をお願いします。

*勤務先・住所等が変更になった場合は事務局までお知らせ下さい。

*退会の際には必ず事務局までご連絡下さい。